



国家公務員給与 削減法成立

国家公務員給与削減法与 野党合意、成立

二月一七日、国家公務員給与引下げ法案について民主・自民・公明三党の間で合意し、一月二十九日、成立しました。この結果〇・二三％（人事院勧告分）を昨年四月にさかのぼって引下げ、今年四月からは七・八％（〇・二三％分含めた合計）引下ることとなります。二〇一〇年八月に当時の菅総理大臣に対し、当選一回議員約二〇名と「人事院勧告を深堀りして大幅に引下げるべし」と直談判（この話はここから始まったのです）してから一年半、ようやく合意にこぎつけました。

二月一七日のNHKニュースウオッチ9に出演した野田総理は、「国民にご負担をお願いする前提として、我々政治家が身を切るということをやらなくてはならない。定数削減は今与野党協議をやっていますけれども、これは必ず求めていきたいと思えます。二〇一四年四月からまず八％に消費税を引上げるその前には、公務員人件費の削減、定数の削減、特別会計改革、独立行政法人改革、政治

改革・行政改革を必ずその前にやり遂げるということを目指していきたい。」と発言しました。「前提であること、「引上げる前にやり遂げる」という言い振りはこれまで無かったはつきりした言い方です。給与引下げの攻防が決着し、次は議員定数削減がどうなるかに引き続きご注目頂ければと存じます。

行政改革実行法案

私は行政改革調査会事務局次長として、国家公務員総人件費二割削減や天下り規制強化を盛り込む「行政改革実行法案」（仮称）の最終調整を政府としています。ねじれ国会の下で民主党の成果につながるこの法案を野党は体を張って止める可能性が高く、成立しない可能性もあります。そこで、私は「社会保障・税一体改革大綱」の中に「閣議決定ベースで可能な改革は直ちに実行に移す。」という一文を盛り込ませました。例えば天下り規制強化などは、法案の成立を待つことなく閣議決定して進めることができます。この法案に、「総人件費二割削減」という数値目標を盛り込めるかどうかも勝負となります。

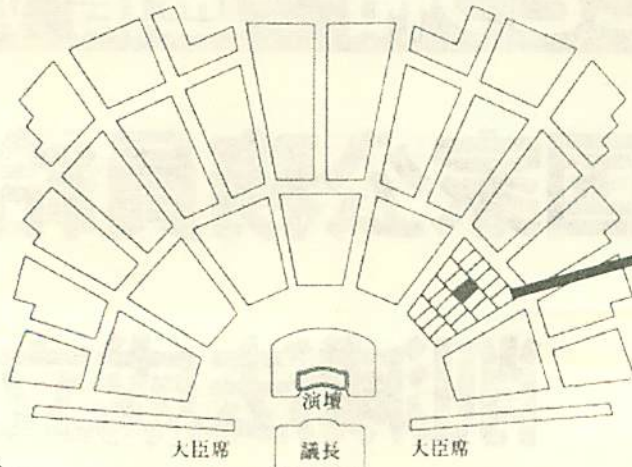
NHK受信料値下げへ

NHK受信料の改定は、電気料金のように政府が認可するのではなく、受信料を含めたNHK予算を国会で承認する形で行われます（放送内容に政府が関与すべきでないといった理由）。つまり我々国会議員（私が所属する総務委員会）が政府に代わって厳しくチェックしなければなりません。今回、受信料は史上初めて七％引下げとなりそうです（今年十月一日から）。私は、これでもまだ甘いと思て、さらなる経営効率化努力を迫っているところです。

政治家は嫌われてなんぼ

私は、「ムダ全廃」に関わる仕事ばかりしているため、官僚やNHKからは嫌われ者です。しかし、嫌われてでも厳しく迫る国会議員がいないと、ごまかされてしまいます。行政改革以外の分野は官僚の能力をある程度信頼して仕事を進めるのが普通ですが、行政改革は官僚の身を切ることなので官僚に任せるわけにいかず、対決モードの仕方の仕方にならざるを得ないので。政治家が官僚にだまされるか、だまされないか、政治主導で国民の声を反映できるか。しっかりと実現するまでやり続けます。

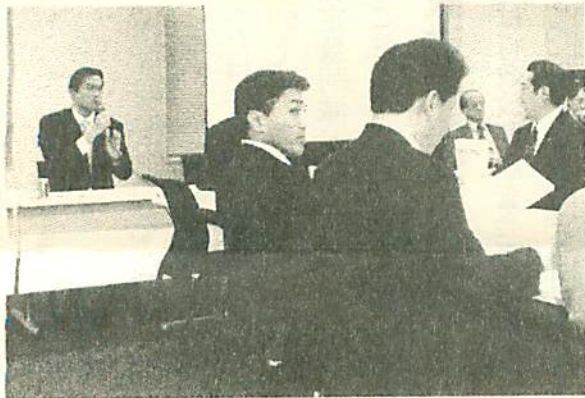
本会議場の座席はココ！



地域のどんど焼きに参加しました



小鮎公民館にて
竹馬難しい・・・



内閣部門会議事務局長として司会をします



3/24「ごとう祐一君を育てる会」



行政管理・効率化ワーキングチーム事務局長として司会
(総人件費2割削減と天下り規制を議論する場)

民主党神奈川県第16区総支部

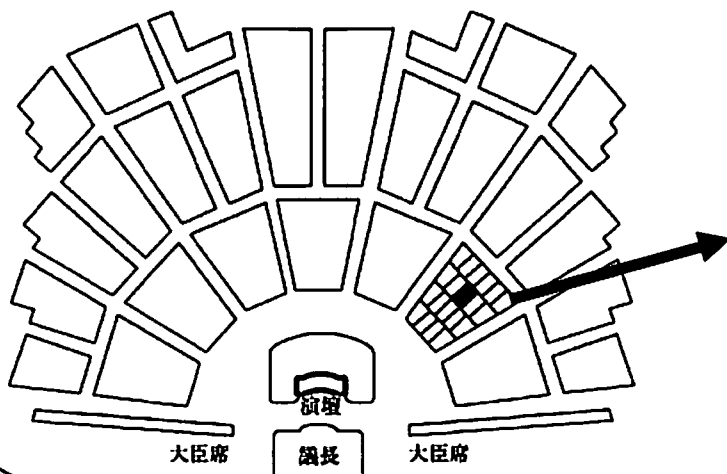
〒243-0017

厚木市栄町 2-4-28-212

TEL 046-296-2411

FAX 046-296-4811

本会議場の座席はココ！



地域のどんど焼きに参加しました



小鮎公民館にて
竹馬難しい・・・



内閣部門会議事務局長として司会をします



ごとう祐一

行政管理・効率化ワーキングチーム事務局長として司会
(総人件費2割削減と天下り規制を議論する場)

「ごとう祐一君を育てる会」

岡田副総理来たる！

日時：3/24(土) 17:00

場所：レンプラントホテル厚木

会費：10,000円

お問合せ：046-296-2411

この催しは、政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティです
岡田副総理は急な公務により、やむを得ず欠席となる場合がございます

民主党神奈川県第16区総支部

〒243-0017

厚木市栄町 2-4-28-212

TEL 046-296-2411

FAX 046-296-4811